

稲生川土地改良区（青森県）

員外理事として定数を増やし女性が就任



前列中央 丸井理事長
前列右から 佐々木理事、蛭名理事

組織の概要

面積：4,538ha
組合員：3,870人
理事：18人（うち女性員外2人）
監事：3人（うち女性0人）
職員：13人（うち女性5人）

通常の理事：組合員の立候補・選挙により選任して
登用方法 いる。

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和4年3月15日 定款変更(定数増、員外理事規定)
8月23日 総代会にて総選挙
9月5日 理事就任
(任期：令和8年9月4日)

えびなゆうこ 蛭名優子 理事



経歴

青森県土地改良事業団体連合会で土地改良換地士として勤務。連合会初の女性管理職。

理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

食を担っているのは、半分は女性です。地域の女性のアイデアを取り入れたら、土地改良区も地域ももっと活性化するでしょう！

女性理事登用を進めるための秘訣

(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)
理事の仕事に必要な資格はないと思います。今まで培ってきた経験を活かす時です。

蛭名さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。

連合会に勤務されていた時から当土地改良区をわかっていただいている。是非力を貸してほしい。



蛭名理事

※引き受けた決め手。

長年土地改良事業に携わってきた様々な経験が活かせるのではないのでしょうか。

まるいゆたか

丸井裕 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

「土地改良は男社会」というイメージはもう古い。男性、女性にこだわらず色々な意見を出し合っ、より良い新しい風を吹かせましょう。

ささきかずえ 佐々木和枝 理事



経歴

地元で農業・精米業、加工・流通・販売を手掛ける。地産地消にこだわった農家レストランのオーナーでもある。

理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

農家であり、農業委員や六次産業にも携わっている経験を活かして、土地改良区のことをしっかりと勉強したいと思います。

女性理事登用を進めるための秘訣

(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)
理事になったからといって全てを任されるわけはありません。ほかの理事（監事、事務局等）と一緒に土地改良区のこと、未来のことについて考えていきましょう！気負わずに！

佐々木さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。

地元や県内外で地域生産者等とも繋がり深く、様々に活躍されている佐々木さんから色々な意見を伺いたい。



佐々木理事

※引き受けた決め手。

土地改良区のこととはわからなかったけれども、縁あって推薦いただいたので、責任をもって頑張りたいと思います。

事務局より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

会議の場においても色々な意見をいただいております。組織の運営に新しい視点が増えたことを感じております。また、女性理事の登用後も、支障や停滞することなく今まで通り上手く運営できていることが「土地改良は男性でなければ」という意識が変わりつつある良い変化ではないかと思います。登用を検討している土地改良区へのアドバイスとして、働きやすい職場環境を整えること（受入協力体制）と女性の活動の様子を広報等で広く情報発信することにより理解を得られると思います。

田子町土地改良区 (青森県)

明るく元気な員内女性理事2人!!
土地改良区の仕事を理解しているので頼もしい



左から脇谷理事、畠山理事長、岩間理事

組織の概要

面積：397.2ha
組合員：493人
理事：14人（うち女性員内2人）
監事：3人（うち女性0人）
職員：2人（うち女性2人）

通常の理事：各被選挙区ごとに選挙で選出している。
登用方法

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年3月12日 定款の一部変更（定数増、被選挙区増）総代会議決
令和6年3月24日 総代会 役員総選挙
令和6年4月11日 理事就任
（任期：令和10年4月10日）

わきやあつこ 脇谷敦子 理事



経歴

3期12年土地改良区総代。田子町農業委員（1期3年）。八戸農協女性部田子支部副会長（R5～現在）。認定農業者。

理事になって思うこと

（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

理事就任に伴い、改めて土地改良区の役割を学び、今後土地改良区の運営に役立てたいです。農業は、男性も女性も力を合わせて共同作業だと思っています。

女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

チャレンジ精神の気持ちで飛び込んできて欲しいです。

脇谷さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。
土地改良区に多様な人材が必要であることを、理事長から直接説得していただきました。



脇谷理事

※引き受けた決め手。
地域内の現状を知っているので、力になればと思い引き受けました。

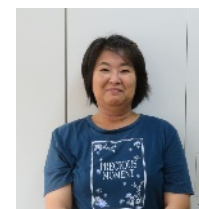
はたけやまよしあき

畠山嘉昭 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

事務局長が「あおり水土里ネット女性の会」会長ということもあり、女性理事登用に率先して取り組みました。当土地改良区では37年前に2人、平成8年に30代の方が女性理事に就任していた時もあり先駆的だと思います。女性の意見を存分に発し活躍していただきたいです。女性理事登用は明るい未来の土地改良区になるでしょう。

いわりえ 岩間理絵 理事



経歴

認定農業者。

理事になって思うこと

（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

女性だから男性だからとあまり考えずに、自然に「農業者の立場」として進めていければいいと思います。

女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

組合員ではありますが、土地改良区理事についてあまり考えずに「どうにかなる」の気持ちで踏み込みました。

岩間さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。
土地改良区に多様な人材が必要であることを、理事長から直接説得していただきました。



岩間理事

※引き受けた決め手。
勉強する意味で引き受けました。

事務局長より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

理事候補者を探すのが困難になりつつあり、前回改選時に理事定数を減じたばかりで、女性理事枠を設けることに最初は反発もありましたが、理事会で話し合い理解され、総代会で定款変更議決されました。役員改選期に合わせて計画的に人選・打診のタイミング・交渉方法等を理事長と方針を共有して進めました。員内女性理事2人は強力な味方です。